

## ごあいさつ

本校では、令和5年度、令和6年度と2年間にわたり、「学校安全」の研究指定を受け、研究を進めてまいりました。まずは、ここに研究発表会が開催できますことに心より御礼申し上げます。

さて、近年における地震や豪雨による災害は、私たちの身近にも起こりうるものであるという「危機意識」を常に持つことが大切であるという警鐘ととらえています。そのためには、身近にいる地域を知り、有事にはどのような行動をすればよいのか体験を通して学んでおくことが重要です。

本校は、元荒川の流に隣接している地域にあり、水害の発生が危惧されます。また、学区が広いこと、全校生徒が自転車で通学しており、そのうち3分の2以上の生徒が交通量の多い国道を毎日横断して登下校をしています。

このような現状を鑑み、生徒一人ひとりに交通安全への意識や防災への意識を高く持たせ、地域の中心となって活躍できる人となるよう教職員一丸となって、学校安全の研究、実践を重ねて参りました。2年間という短期間の取組ではございますが、これまでの取組の成果を発表させていただきます。関係の皆様におかれましては、忌憚のないご指導ご意見を賜れば幸いです。

結びに、本研究を進めるにあたり、ご指導をいただいたさいたま市教育委員会、日本交通安全教育普及協会をはじめ、関係諸機関の皆様、多くのご支援をいただいた本校保護者及び地域の皆様に深く感謝申し上げます。あいさつとさせていただきます。

さいたま市立川通中学校 校長 鈴木 純

### 1. 主題と主題設定の理由

#### 生徒の「エージェンシー」を育む教育の研究 ～主体的に「自助」「共助」でき、 地域の中心となって活躍できる生徒の育成～

さいたま市立川通中学校は、生徒数は約200人、学級数も7クラスとさいたま市の中でも小規模な学校である。また、学区が広いことや、約99%の生徒が自転車通学をしていること、元荒川が近くを流れていることも本校の特色である。

また、祭りや地区運動会などが盛んで、地域と学校のかかわりも深く、中には3世代で川通中学校出身の家庭もあり、地域愛着の高さを感じられることは川通地区の大きな特徴である。

本校は、令和5・6年度、さいたま市教育委員会及びさいたま市学校保健会から委嘱を受け、「学校安全」についての研究を行うこととなった。地域に根差したこの地で学ぶ本校の生徒たちは、地域の活性化に寄与し、地域の力となること、そして将来的に地域の中心となって活躍できる力を身に付けることが求められている。本研究を通して、本校の特色を生かしながら、学校教育目標である『向学・自立・協働』の体現、そして「自分の幸せな人生」と「豊かな社会」を創造するために、生徒の「エージェンシー」の育成を目指し、研究主題を設定した。



### 4. 成果と課題

#### 【成果】

- ヘルメットを登下校時以外でも着用する生徒が増えるなど、生徒の交通安全への意識が高まった。
- 災害安全について取り組むことで、防災への意識や安全な環境への意識が高まり、生徒たち自身で安全な家庭環境や校内環境づくりについて考え、行動することができた。
- 災害安全部や交通安全部での地域と連携した様々な活動を行うことができたため、生徒たち自身が、地域に見守られているということを再確認でき、地域への愛着に繋がった。
- 各委員会や部活動、PTAと連動した取組によって、子ども・保護者・地域の視点を生かした学校安全の取組ができた。

#### 【課題】

- ▲自転車利用が身近だからこそ、慣れによる油断があることがわかった。
- ▲より実生活に根付き、継続・発展できるような取組の実装が必要である。
- ▲教職員の安全への知識や理解をさらに向上させていけるよう、研修の充実が不可欠である。
- ▲生徒たちがより主体的に地域の行事に参加したり、防災の取組に参加したりするなどして、さらに郷土愛を育み、自分と家族、そして地域の将来について考え、行動する力を引き続き育てていく必要がある。
- ▲学校安全の研究を通し、道徳教育やキャリア教育との関連性が見えてきた。

#### 研究に携わった本校職員

★研究主任 ○教務主任

【令和6年度】	校長 鈴木 純	教頭 山口祐貴子				
○岩本 守広	五十嵐基之	渡橋 竜馬	森田 洋子	川越 皆輝		
安藤 翔太	★茅野 真由	鈴木 寿武	柏原 友城	佐藤 伸明		
桑原 涉	藤井 哲也	佐藤 蓉子	内田 千尋	橋本 幸恵		
井上 誠也	山川 千草	古澤 貴子	佐々木真理	古澤 園恵		
大下内 忍	春山 悟	田口 祐子	細矢 正公	増田 七穂		
大森千紗登	鈴木貴久夫	栗原 正雄	斉藤 香織	福田 崇		
大木 有紀	石山 景子	マニカド・グレンモア・ラボン	小松 寿明			

【令和5年度】	校長 金今 義則	教頭 倉林 弥生			
○★深山清隆	安藤 翔太	茅野 真由	鈴木 寿武	駒井 萌子	
佐藤 伸明	松原 佑樹	藤井 哲也	西村 永理	丸橋 勇介	
五十嵐基之	辻 亮子	渡橋 竜馬	佐藤 蓉子	橋本 幸恵	
井上 誠也	秋葉 信也	小林 万桜	古澤 貴子	佐々木真理	
古澤 園恵	大下内 忍	春山 悟	田口 祐子	細矢 正公	
増田 七穂	大森千紗登	鈴木貴久夫	田中規記子	斉藤 香織	
八木澤龍馬	大木 有紀	石山 景子			
	マニカド・グレンモア・ラボン	小松 寿明			

令和5・6年度

さいたま市教育委員会委嘱（研究指定）

さいたま市学校保健会（研究指定）

「学校安全」研究発表会



### ～研究主題～

## 生徒の「エージェンシー」を育む教育の研究

～主体的に「自助」「共助」でき、  
地域の中心となって活躍できる生徒の育成～

令和6年11月19日(火)



☆学校教育目標：向学・自立・協働

☆校訓：夢を実現

☆スローガン：一生懸命はかっこいい



キャラクター かめたるう



さいたま市立川通中学校

〒339-0011 さいたま市岩槻区大字長宮435

TEL:048-799-1061 FAX:048-799-0436

HP:https://kawadoori-j.saitama-city.ed.jp/



HP